学校だより

令和８年度小川中学校
令和8年10月19日発行
NO. ６
文責：岡宮　隆吉

【１０月２日（金）】　開校７０周年記念式典・講演会が小川中学校体育館で行われました。ご参加いただいたご来賓のみなさま、地域のみなさま、保護者のみなさま、本当にありがとうございました。



開校７０周年記念式典の前には、参加者による「７０」の人文字撮影が行われました。生徒が着用している記念ポロシャツのロイヤルブルーが見事に際立っています！

当日はドローンの不調により、上空からの写真撮影はできませんでしたが、どこかでドローン撮影のリベンジができないかと検討をしています。





開校７０周年記念式典のオープニングを飾るのは、「アコギ会」のみなさま＆吹奏楽部＆全員による小川讃歌。生の演奏で小川讃歌を参加者全員で歌うという、非常に貴重な時間となりました。







中村実行委員長のご挨拶、ご来賓の皆様のご祝辞を頂戴しました。また、開校７０周年記念式典実行委員会から、ポロシャツとクリアファイルの記念品をいただきました。ありがとうございました。



コロナ禍で歌われなくなっていた「小川讃歌」を、校長先生のお話をきっかけに再び歌うようにしました。先輩方が大切に歌い継いできた歌を、改めて全校で歌えるようになったことは、小川中の伝統を引き継ぐ新たな一歩になったように思います。

若鷹祭を通してさらに絆を深めながら、小川中の大切な伝統を、これからの未来にもしっかりと繋いでいきます。

西沢生徒会長の言葉からは、これからの小川中を引き継いでいくという強い意志を感じました。

記念式典にあわせて、清水まなぶさんによる「希望をつなぐ　歌と語りの講演会」が行われました。



清水さんの曲やお話しを聴いて、戦争の苦しさや悲しさを改めて実感することができました。清水さんが話を聞いてきた方の「草がおやつだった」という言葉から、現代がどれだけ幸せなのかを知ることができました。これからも平和学習を通して、戦争についてもっと知りたいと思います。

家に帰って、母といろいろ話したのですが、戦争というと、恐ろしく、重たく、暗い話だというイメージがあります。そのイメージも戦争を学ぶ上では大切だと感じますが、清水さんはとても分かりやすく、言ってしまえば雑談のような雰囲気で話してくださいました。そんな雰囲気の中でも、おじいさんの手記を語るときには、戦争というものの重さが感じられ「バランスがとてもよかったよね」と。歌も、お話とは違った方法で私たちに響いてくるものがあり、なんだかとても感動しました。講演会のあと、私はとても「ＨＥＩＷＡの鐘」を歌いたくなりました…。

私は中学３年間で平和について学んできました。清水さんの歌に「明日生きているか分からない」というような歌詞があり、心に残っています。私は今、平和で毎日が楽しく幸せに過ごせています。“明日生きているか分からない”ことはないけれど、講演を聴いて、“今”が改めて幸せでありがたいことなんだと感じています。そして、これからも感謝を忘れずに過ごしていきたいです。

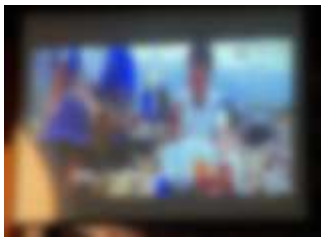


【１０月３日（土)】　万紫千紅～Our 70thMEMORIES 咲き誇る みんなの個性～のテーマのもと、それぞれの舞台で力を発揮する生徒の姿を見ることができました。保護者の皆様、地域の皆様のお支えのおかげです。これからもよろしくお願いします。





吹奏楽部


学年発表





展示見学



文化部



作文発表





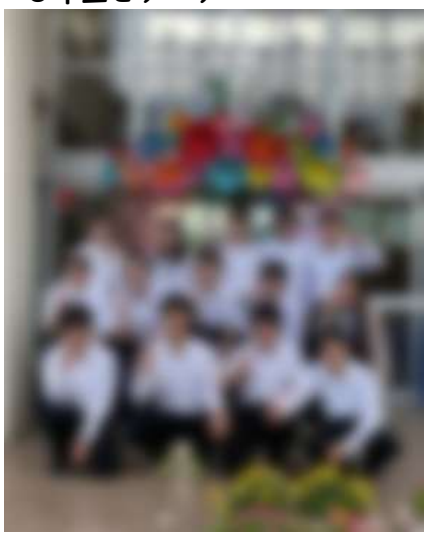

音楽会

**　小川小学校４年生のみなさんも音楽会に参加してくださいました。小川村に、小中学生の素敵なハーモニーが、体育館いっぱいに響き渡りました！**



閉祭式

３年生とアーチ







　終わったー‼って気持ちと、ちょっと悲しい気持ちがありました(笑)。音楽会の最後の水平線とか、本当に感動しました。若鷹祭が始まる前の円陣とか、青春だなって思いました。若鷹祭を企画、運営するのは一回しかないので、みんな慣れていないし緊張していたと思うんですけど、なかなか良かったんじゃないかなと自分でも思います(ずっとステージ裏にいただけだけど)。全校も楽しんでくれたのではないかな、と思います。全校のみんなを楽しませることができるような若鷹祭を、このクラスのみんなで協力して作り上げることができて、良かったなと思っています‼

＜連絡＞　○１０月２１日（水）　一日小川　高齢者宅訪問

○１０月２３日（金）　漢字検定　日程変更のお知らせ

１０月２７日（火）に日程変更となりました。よろしくお願いいたします。

○１１月　２日（月）　計画休業日

○１１月　９日（月）　参観日③　人権講演会　＜講師　牧 美花さん＞

牧さんは、左手にハンデを抱えながらも独自の奏法を身につけ、バイオリンパフォーマーとして、ライブやコンサート、講演会などを多数開催されています。